



たかむく 2023

明章小学校
学校だより第22号
令和6年1月11日

令和5年度第3学期が始まりました

冬休みが終わり、子供たちが元気に登校してきてくれました。「おはようございます」のあいさつの中に「あけましておめでとうございます」の声も聞かれました。事故や病気の報告もなく、無事に3学期を迎えられたのも、保護者の皆様のおかげと感謝しております。ありがとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、9日の始業式では、まず初めに2学期の終業式の際に考えておいてほしいとお願いしていたことを見童に問いかけました。それは、2024年の目標や自分の決意を言葉で伝えられるよう考えておくことでした。各クラスの代表が前に出て、それぞれの目標を発表してくれました。しっかり考えてくれていたことを心からうれしく感じました。目標を達成するために何に取り組めばよいかを考え、取り組むことを決めたらしっかり実行してほしいと思います。3学期は短い学期ですが、進級・進学に向けて成長できるように職員一同取り組んでまいります。保護者の皆様には、これからもお願いすることが多々あるかと思いますが、引き続きご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

不安な思いはためこまないで

今年も新年早々大きな災害や事故が起きてしまいました。ニュースから流れてくる被災された方々の窮状を目にすると、「心からお見舞い申し上げます」と言葉にするのもはばかれるほど大変な被害が出ています。被災地が一日も早く復興し、日常が戻ってくることを心より祈念いたします。

東日本大震災の後に、子供や保護者を対象に調査した研究結果があります。震災映像をたくさん見ることは、子供や親のメンタルヘルスに影響があるというものです。今回の災害や事故のニュースを見ていた子供たちの中には、神経過敏になっている子がいるかもしれません。また、地震の揺れを感じてストレスを抱えているかもしれません。自分の身の回りでも悪いことが起きると考え、「家族がけがをする・亡くなる」と不安になってしまう場合もあります。お子さんの様子を注意深く見守ってあげてください。不安定になっていないか、攻撃的になっていないかなど、お子さんの変化を見守りながら不安の声に耳を傾けてあげてください。学校でもしっかり見童の様子を見ていきます。お子さんの様子で気がかりなことがあればお知らせください。

校長自身も毎日不安な気持ちですごしています。子供たちが在校時に地震が起きたらと考えたり、在宅時に再び津波警報が出たらと考えたりしているととても不安になります。不安なときは「どうしよう、どうしよう」と思考停止の無限ループに入りがちです。悩み続けていると不安は強くなります。ですから、問題を解決するように行動を起こすことが必要なのだそうです。今自分にできることは何かを考え、できることひとつひとつに取り組むことで不安を小さくしていくことが大切とのことです。学校防災マニュアルの見直しなどに取り組んで、見童が安心してすごせる学校づくりをがんばります。